

周作クラブ会報

(第53号)
2013年11月28日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

総会関連報告	1・4・5・6面
「周作忌」報告	2・3面
長崎文学館便り	7面
連載コラム②	8面
遠藤周作『侍』展	9面
町田市民文学館	9面

報告—第13回定時総会

生誕90年の節目に、和やかに

決算時期の変更など承認される

2013年9月29日(日)午後3時半から、東京神田一ツ橋の如水会館で「周作クラブ」第13回定時総会が行われた。今年には総会開催日が日曜日と重なったが、出席31名、委任状260名(会員総数は430名)で会は成立し、予定された議題をすべて審議・承認した。



議事進行の左から加藤・宮辺両幹事と岡田議長

加賀乙彦会長と高橋千劍破幹事が所用で欠席のため、宮辺尚幹事の開会宣言で、今年の総会は定刻に開始された。まず、会員担当の宮辺幹事から現在の会員数について、この1年間における入会者は28名、退会者は56名で、総計では28名の減少となり、9月1日における会員数は425名であることが報告された。

●第1号議案—前年度事業報告

(宮辺尚幹事)

昨年9月29日の「周作クラブ」総会から本年8月までの全事業(9月の周

作忌、1月の新年会、3月の遠藤生誕90年記念ミサとイベント、4月の文学セミナー、5月の90年記念特別対談、そして年4回の会報発行など)が報告された。

●第2号議案—前年度会計報告

(宮辺尚幹事)

前年度の収入は前々年度からの繰越金を含めて3,504,365円で、支出は2,637,450円、したがって今年度への繰越金は866,915円となること、さらにその内訳が報告されたのち、会計監査の光武喜代人さんから監査報告があり、拍手で承認された。(会報5ページ参照)

なお、ここで宮辺幹事より、現在のように入会者が8月末日であると、会報の発行時期とも重なって多くの委員への負担が大きくなり、今年度からは一ヶ月ずらして7月末日の決算(8月1日)に変更できないかと提案があり、全員一致でこの件が承認された。

●第3号議案—役員・委員について

(加藤宗哉幹事)

今期は役員改選の年ではないが、昨年の総会后、あらたに2名の委員が加わったことが報告され、承認された。新委員はいずれも総務担当で、小山朱美さんと石井由里亜さん。

●第4号議案—今年度事業計画

(加藤宗哉幹事)

これまで通りの会報発行(決算時期

が早まったため、今年度は3回の発行)と、1月の新年会、3月は町田市民文学館での遠藤周作展とそのイベント、4月の文学セミナー、5月の長崎への「遠藤文学・原点の旅」などが発表された。(イベントについては9ページ、原点の旅は4ページ参照)

●第5号議案—今年度予算

(宮辺尚幹事)

収入見込み2,288,225円、支出見込み1,212,800円、予備費1,075,425円の内訳が説明され、承認された。

以上で議案

はすべて審議を終了した。

続いて長崎からのゲスト田中直秀さんが「NPO法人・遠藤周作文学振興会」について

の現状と今後の処置について説明

し、その後、長崎周作クラ

ブの報告(高尾直子さん)と周作クラ

ブ関西支部の活動報告(横井勲世話人は欠席)が伝えられて、和やかな雰囲気

のうちに第13回定時総会は午後4時20分、閉会した。

(記/加藤宗哉・写真/田村百合子)



総会風景